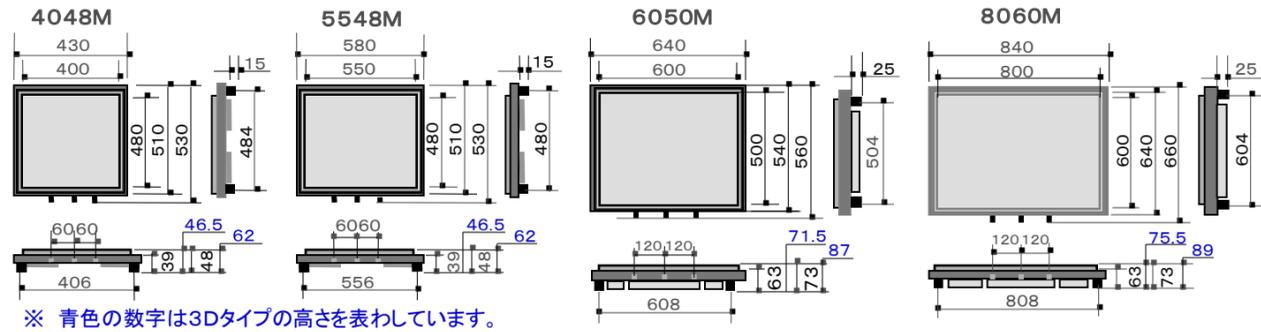
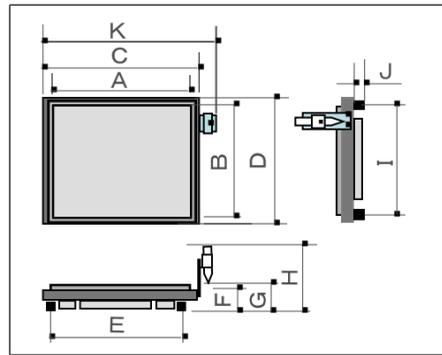


DT卓上型空気ばね式防振台 M型外形寸法表



※ 青色の数字は3Dタイプの高さを表わしています。

DT卓上型空気ばね式防振台 A型外形寸法表



単位:mm

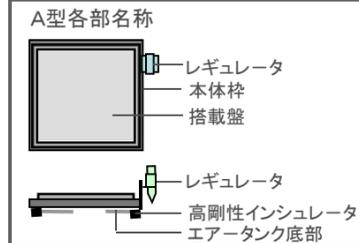
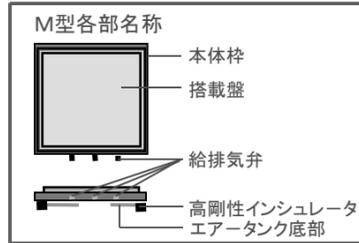
	4048A	5548A	6050A	8060A
A	400	550	600	800
B	480	480	500	600
C	430	580	640	840
D	510	510	540	640
E	406	556	608	808
F	39	39	63	63
F	46.5	46.5	71.5	75.5
G	48	48	73	73
G	62	62	87	89
H	144	144	168	168
I	484	484	504	604
J	15	15	25	25
K	482	632	692	892

※ 青字のFとGは3Dタイプの高さを表わしています。

仕様

はA型のオートレベリング型です。

形式	DT-	4048M	5548M	6050M	8060M
形式	3DT-	4048M	5548M	6050M	8060M
形式	DT-	4048A	5548A	6050A	8060A
形式	3DT-	4048A	5548A	6050A	8060A
防振方式	HERZ精密空気ばね				
固有振動数(垂直)	1.5~3.0Hz				
固有振動数(水平)	1.0~2.0Hz ※ 3Dタイプのみ				
M型エア供給方式	手動式エアポンプ				
M型水平維持方式	エア給排気弁3ヶの手動調整				
A型エア供給方式	エアコンプレッサー・工場エア等				
A型水平維持方式	メカニカルオートレベリングセンサー3ヶによる自動調整				
搭載盤(ご指定)	A. ロンリュウム貼り B. 普通鋼板黒色塗装仕上 C. 着磁性ステンレス鋼板 D. タップ加工 M6-50mmXY E. タップ加工 M6-25mmXY				
搭載盤(ご指定)	ハイダンピング処理 a. 有り ※ 3Dは標準 b. 無し				
本体枠(ご指定)	ハイダンピング処理 a. 有り ※ 3Dは標準 b. 無し				
搭載可能重量(DT)	40kg	40kg	100kg	100kg	
搭載可能重量(3D)	30kg	30kg	70kg	60kg	
本体脚部	ゴム製 高剛性インシュレータ ※ 3Dタイプのみ				
M型付属品	ハンドポンプ 1本 給排気弁締め付けドライバー 1本 取扱説明書 1部				
A型付属品	空気源接続エアチューブ3m 1本 取扱説明書 1部				



※ A型には別途空気源が必要です。エアコンプレッサー・窒素ガスボンベ・工場エア各空気源ともに圧力は0.2~最大0.3MPaが必要です。  
 当社は、サイレントエアコンプレッサーの販売をしています。防振台ご下命時に合わせてご用命ください。  
 ※ 本カタログの記載内容は性能・機能向上にともない、予告なく変更いたしますのでご了承ください。

ヘルツ株式会社

神奈川県横浜市神奈川区栄町5番地1 YCS18階  
 TEL: 045-450-2211 FAX: 045-450-2221  
 e-mail: sales@herz-f.co.jp URL: www.herz-f.co.jp



Nano

DT  
 卓上型空気ばね式防振台  
 3DT  
 高性能卓上型三次元空気ばね式防振台



DT-3DT

ヘルツ株式会社



ナノテクノロジー時代の……

### DT型卓上型空気ばね式防振台

ヘルツ・3DT型卓上型空気ばね式防振台は、20数年におよぶ技術蓄積を基にしてナノテクノロジー対応型として開発いたしました。ナノテクノロジー時代の測定環境はさらに進化した防振技術はもとより制振技術も求められています。ヘルツは従来型のDT型卓上型空気ばね式防振台に加えて、垂直方向の精密空気ばねと融合する水平方向360度自由防振機構を設けた3DT型を開発しました。さらに空気ばね式防振台本体を支えるインシュレータ(脚部)にいたるまでモーダル解析や機器搭載盤のコンプライアンステストを行うなど、ナノテクノロジー時代に相応しい、もっとも信頼の高い卓上型空気ばね式防振台を提供いたします。



#### 3DT-A型卓上型空気ばね式防振台 DT-A型卓上型空気ばね式防振台

3DT-A型およびDT-A型は、外部空気源(エアコンプレッサ・窒素ガスボンベ・工場エア)からエアの供給を受けます。搭載機器の重量に合わせてレギュレータで最適な圧力調整を行います。エアの供給を受けて、メカニカルオートレベルセンサ(3ヶ)の働きで、機器を搭載した搭載盤の水平を維持します。**3DT-A型**は水平360度方向の防振機構に加え、機器搭載盤や本体枠のハイダンピング処理も標準仕様になっています。ナノテック時代の最適な卓上型空気ばね式防振台として本体を支える脚部は高剛性インシュレータを採用しています。

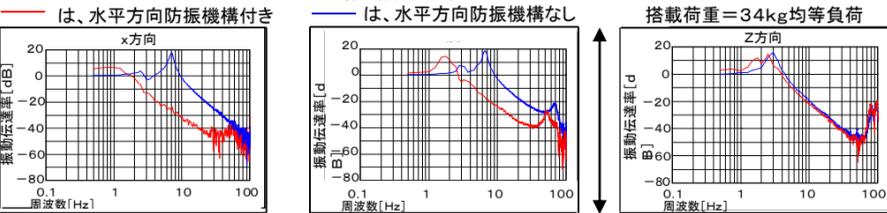
#### 3DT-M型卓上型空気ばね式防振台 DT-M型卓上型空気ばね式防振台



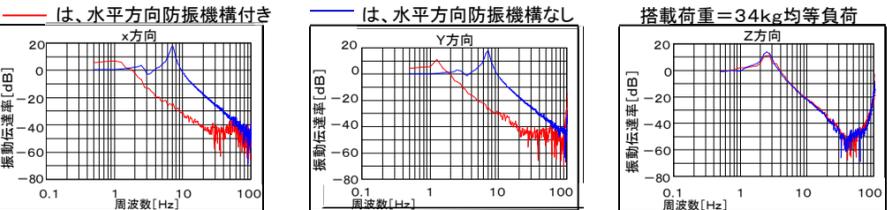
DT-M型は、標準付属品のハンドエアポンプを用いて、搭載盤に機器を搭載したのちに、3ヶの給排気弁を用いてエアを入れて簡単に搭載盤を最適な高さまで浮上させることができます。搭載盤の水平出しは、機器を搭載したのちに3ヶの給排気弁を利用してエアの給排気を行います。外部空気源を必要としないために簡便に最良の防振環境を得ることができます。**3DT-M型**は、機器を載せる搭載盤や本体枠のハイダンピング処理も標準仕様になっており、ナノテック時代の最適な卓上型空気ばね式防振台です。

#### 防振性能 3DT-M型卓上型空気ばね式防振台 DT-M型卓上型空気ばね式防振台

##### 3DT-5548M & DT-5548M 振動伝達率

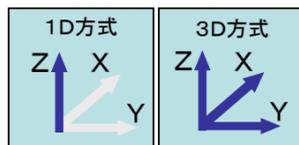


##### 3DT-6050M & DT-6050M 振動伝達率

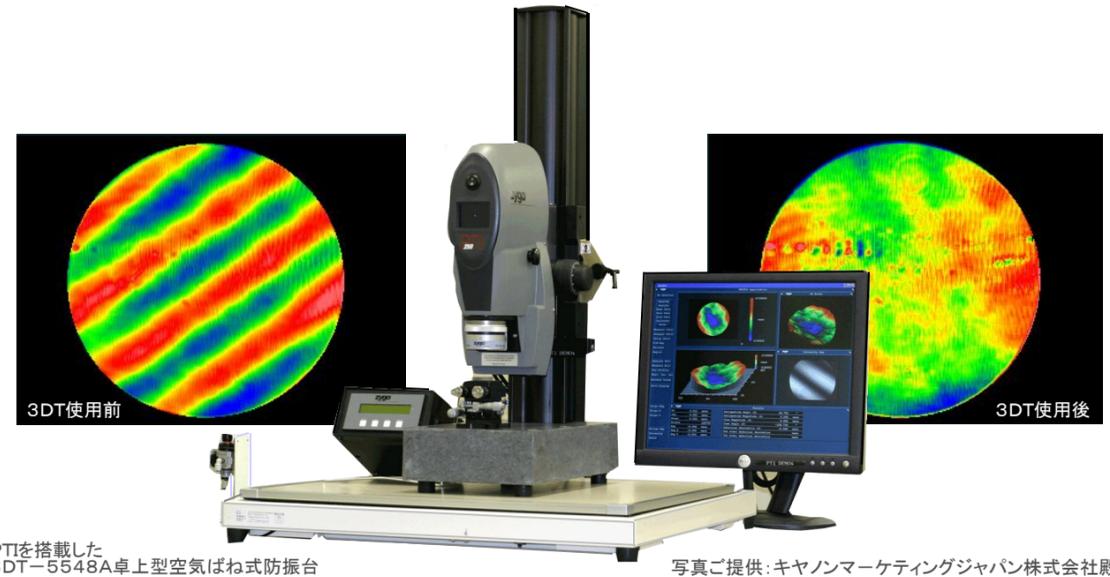


卓上型空気ばね式防振台[3DT]は、3次元方向に対応する防振機能を備えています。水平方向の固有振動数は1.0~2.0Hzとシンプルな形状である構造体としては画期的な防振性能を持っています。建物内の一般的な床振動は数Hz~50Hz程度の振動が多く、これらの周波数領域に対して十分な防振効果を得ることができます。

#### 防振の方向性



## 測定環境の創造



PTIを搭載した3DT-5548A卓上型空気ばね式防振台

写真ご提供: キヤノンマーケティングジャパン株式会社

#### 3DT型搭載盤の制振処理

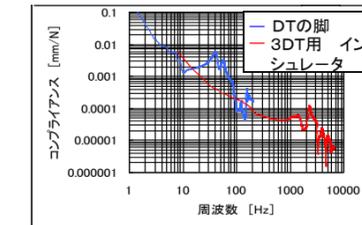
ナノテクノロジーなど科学技術のたゆまない進歩にともない防振の技術開発も向上してきました。しかし、最近では防振と同程度に制振についても効果が求められるようになりました。「ハイダンピング超高性能三次元空気ばね式防振台」の関連制振技術を3DT卓上型空気ばね式防振台に利用し、ヘルツは時代の要請に応えています。

#### 3DT型搭載盤のコンプライアンス測定

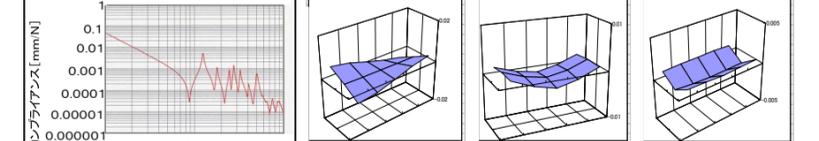
#### 3DT脚部のコンプライアンス測定例

インパルスハンマーで打撃したときの従来脚と3DT用インシュレータとDT用脚を比較したコンプライアンス曲線

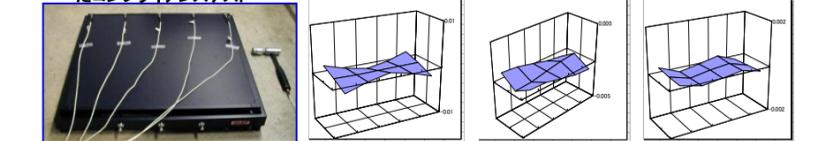
DT用脚の固有振動数: 39.75Hz  
3DT用脚の固有振動数: 2256Hz ※  
各脚はDT-6050Mに装着して測定



6050M搭載盤のコンプライアンス曲線  
1次モード 125Hz 0.00504mm/N  
2次モード 180Hz 0.00110mm/N  
3次モード 247Hz 0.00068mm/N

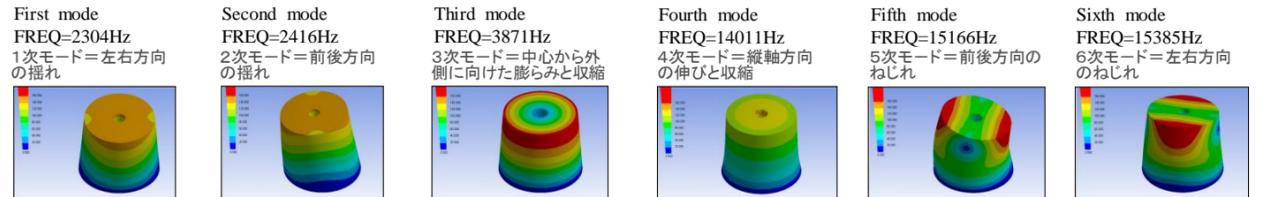


インパルスハンマーを用いたコンプライアンステスト  
4次モード 276Hz 0.00142mm/N  
5次モード 326Hz 0.00055mm/N  
6次モード 406Hz 0.00019mm/N



#### 3DT用インシュレータのモーダル解析(使用ツール: ANSYS Workbench Products 7.0)

##### 3DT-6050・8060用インシュレータのモーダル解析



##### 3DT-4048・5548用インシュレータのモーダル解析

